

整理番号	6	作成日	平成 19 年 7 月 6 日
事業名	江戸川区ESCO事業		
所属名	環境部 環境推進課 調査係	電話番号	(03) 5662-6745 (直通)

事業の目的・概要・対象者等	<p>《事業の目的及び概要》</p> <p>区が行う事業活動に伴って排出される二酸化炭素排出量を削減するために実施しています。17年度は、エネルギー（電気、ガス）使用量の多い15施設について省エネルギー診断を実施し、省エネルギーの可能性を調査しました。18年度は、省エネルギー診断を実施した施設についてESCO（Energy Service Companyの略）事業の手法を用いて省エネルギー改修を実施しました。なお、改修はESCO事業者が提案した内容で行っています。</p>	<p>《事業の開始年度》</p> <p>17年度</p>
	<p>【平成19年4月1日】</p> <p><b>対象者</b> 358実行最小単位</p> <p>環境行動計画の実行最小単位数 《環境行動計画は、地球温暖化防止や環境への配慮を自ら率先して行動するための計画です。取り組みを推進するための課や事業所ごとの組織を実行最小単位と呼んでいます》</p>	

活動指標	<p><b>活動指標</b> 建物の省エネルギー改修</p> <p>18年度 15施設 (17年度) -</p>	<p><b>ESCO事業</b> Energy Service Companyの略で、次の3点を特徴とする省エネルギー改修事業です。 光熱水費の削減分で省エネルギー改修を行う経費を賄います。 ESCO事業者が、省エネルギー効果を保証します。(保証した省エネ効果が達成できない時は、その差額をESCO事業者が負担します。) 改修後、ESCO事業者の責任で効果の計測・検証を行います。 <b>改修を実施した15施設(エネルギー使用量の多い順)</b> 総合文化センター、ホテルシーサイド、区役所本庁舎、スポーツセンター、小岩アーバンプラザ、区民センター、中央図書館、小松川さくらホール、スポーツランド、総合体育館、葛西区民館、東部フレンドホール、小岩区民館、清新町コミュニティ会館、西葛西図書館 <b>主な省エネ改修内容</b> 空調機・ポンプ類のインバーター化、照明機器の高効率化、擬音装置の導入、蒸気バルブの断熱強化、夜間電力による温水プールの昇温、高効率空調機への更新</p>
	<p><b>成果・目標指標</b> 二酸化炭素削減量</p> <p>18年度 0トン <b>21年度目標</b> 929トン</p> <p><b>説明</b> 18年度は省エネルギー改修を行いました。19年度から15施設全体で年間929トンの二酸化炭素削減量を見込んでいます。929トンは約330件の家庭から1年間に排出される二酸化炭素量に相当します。</p>	

経費の概要	<p>18年度 事業実施経費 195,267千円</p> <p>内訳 ・二酸化炭素削減量1トンあたり210,190円 (改修費用が含まれているため、18年度は多くなっています。)</p>	<p><b>経費の説明</b> 18年度の経費の内訳は省エネルギー改修費用が183,750千円、ESCO事業導入にあたってのコンサルタント費が3,990千円です。なお、エネルギー削減の保証期間は19年度から23年度までの5年間で、光熱水費の削減保証額は56,363千円/年、計測・検証費は5,355千円/年です。よって、投資回収年を次の式で算出すると、3.6年になります。 投資回収年 = 改修費用 / (削減保証額 / 年 - 計測検証費 / 年) また、投資回収後は削減保証額から計測検証費を差し引いた額が省エネルギー効果による削減額になります。なお、ESCO保証期間終了後も使用形態に変更がなければ光熱水費の削減になります。</p>				
	<p>【人件費と担当職員数】</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 常勤職員</td> <td>0.9人</td> </tr> <tr> <td>イ 非常勤職員</td> <td>0.0人</td> </tr> <tr> <td>ウ 臨時職員</td> <td>0.0人</td> </tr> </table> <p>7,527千円</p>		ア 常勤職員	0.9人	イ 非常勤職員	0.0人
ア 常勤職員	0.9人					
イ 非常勤職員	0.0人					
ウ 臨時職員	0.0人					

その他	<p>《実施の根拠となる法令等》 地球温暖化対策の推進に関する法律 第21条 《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》 省エネルギー診断、ESCO事業は委託事業で実施</p>
-----	---

平成19年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	6	事業名	江戸川区ESCO事業
		所属名	環境部 環境推進課 調査係

所管課長評価

評価項目	評価及び・評価の視点			所管課コメント
<p>改善の必要あり</p> <p>A B C</p>				
1 有効性	有効である	A	有効でない	二酸化炭素排出量を削減するためにはソフト的な対応も必要ですが、削減できる量には限界があり、根本な対策としてハード的な対応策も必要です。
	・事業の目的を達成するために有効である。			
2 公平性	公平である	該当なし。	公平でない	区の施設のため。
	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。			
3 民間活力の活用	現状ままでよい	A	促進したほうがよい	本事業は、民間委託で実施しています。
	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。			
4 効率性	現状ままでよい	A	改善の必要がある	投資回収年・効率性を考えると、今回の実施内容のように同じ建物内でも使用頻度の多い個所を優先して行う必要があります。
	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。			
5 必要性	必要である	A	必要ない	二酸化炭素排出量を削減することは、経費の削減にもつながっている。今後はエネルギー使用量が中規模の施設に拡大することが必要です。
	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施すべき事業である。			

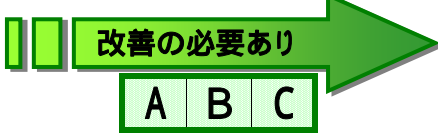
所管部長の意見等

環境行動計画の目標達成には、地域の省エネルギー活動を進めるうえで、区自らの率先活動として大きな意義を持つ。この達成にはソフト的な対応では限界があり、ハード対策としての本事業に踏み込んだ。大きな削減効果が見込まれ、今後、この成果を見極めていく。また、小規模施設についても本事業の可能性を検討し、更なる削減の方向を目指したい。

平成19年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	6	事業名	江戸川区ESCO事業
所属名		環境部 環境推進課 調査係	

外部評価委員会評価

評価項目	評価及び・評価の視点			備考
				
1 有効性	有効である	A	有効でない	・事業の目的を達成するために有効である。
2 公平性	公平である	A	公平でない	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。
3 民間活力の活用	現状ままでよい	A	促進したほうがよい	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。
4 効率性	現状ままでよい	B	改善の必要がある	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。
5 必要性	必要である	A	必要ない	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施すべき事業である。

外部評価委員の各意見

・重要な施策であり時宜にかなっている。

・施設によっては稼働させる必要のない日・時間帯は稼働させないという勇断も求められている。

・地球温暖化によって、いろいろな災害など、世界中が大きく変化してきており、今できる温暖化防止策に工夫が求められているので、未来の子どもたちのために、知恵を出し合い、力を入れてほしい。

・区民へこの事業の効果を伝えるには、二酸化炭素削減量とあわせて、経費削減についてもPRした方が効果がわかりやすい。

・地球温暖化や二酸化炭素の削減の視点から考えると、施設を減らすという考え方もあるのではないかな。